

ライトレースロボットを作って、その周回タイムをみんなで競おう！

ミニマイコンカーラリーへの道



「ロボマガ」記者・城井田 勝仁

第11歩 右回りのコースに強いミニマイコンカーで、クランクを攻めてみた！

ミニマイコンカー製作キット Vol. 1

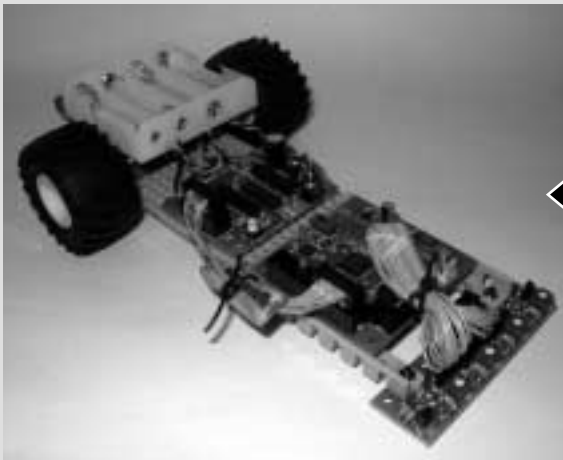
税込価格 7,665円

文化総研のホームページ (<http://www.bun-net.co.jp/>) から購入可能
プログラム転送用の通信ケーブル「通信用RS232Cケーブル(9Pプラグ付き)」は714円(税込み)で別売り

購入に関する問合せ先

〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4-112
札幌A B Eビル2F
株式会社 文化総研 通信販売担当 塩崎明子
TEL : 011-204-7112 FAX : 011-204-7113
E-mail : bunaki@cronos.ocn.ne.jp

ミニマイコンカー製作キットは、ライトレースロボットによる全国規模のロボコン「ジャパンマイコンカーラリー」から生まれた。工作キットの形で提供されるので、ライトレースロボットの初心者でも気軽に挑戦できるのが特長だ。走行プログラムを作るビジュアルコントロールソフト「プロっくん1号」(Windows 98/Me/NT4.0/2000/XP対応)も付属するから、Windowsパソコンさえ手元があれば、すぐにもマイコンカーラリーの世界に入ることができる。



ミニマイコンカー製作キットをマニュアルどおりに完成させると、このようになる。付属のWindowsパソコン用ソフト「プロっくん1号」を使えば、走行プログラムを作ることもできる(別売りのプログラム転送用通信ケーブルが必要)



ミニマイコンカー製作キットには、パソコンとつなぐためのケーブルを除く、必要なすべての部品が含まれる。はんだ付け作業は必要だが、CPUボードやラインセンサーは完成品が付属するので、組み立ての難易度はそれほど高くない。

ラインセンサーを右側にずらして、仮想的に5つのラインセンサーを搭載する

ラインセンサーの数が多ければ、それだけラインを捉えやすく、コースアウトしづらくなる。このことは、本誌で毎年よう

にその模様を伝えているロボコン「ジャパン・マイコンカーラリー」を見ても明らかだ。

そこで前回の本連載では、仮想的にラインセンサーを5つ搭載するミニマイコンカーを考えてみた。標準装備のラインセンサ